

マイコプラズマ・ジェニタリウム (Mycoplasma genitalium)

別名 : MG

マイコプラズマ・ジェニタリウム (Mycoplasma Genitalium : MG) は、細菌 (バクテリア) 性の感染症で、コンドームを使わないセックスの最中に感染する可能性があります。

重要ポイント

- マイコプラズマ・ジェニタリウムは、子宮頸部や尿道、肛門に発症する STI (性感染症) です
- マイコプラズマ・ジェニタリウムの感染者の大半は、まったくの無症状です
- 検査は通常、検尿か、スワブによる膺、子宮頸部、または肛門のサンプル採取で行われます
- マイコプラズマ・ジェニタリウムの治療には、抗生物質が使われます

マイコプラズマ・ジェニタリウムとは? (What is this?)

マイコプラズマ・ジェニタリウム (MG) は、子宮頸部や尿道、肛門に感染する細菌により引き起こされる性感染症です。

マイコプラズマ・ジェニタリウムにはどのようにして感染するのか (How do you get it?)

マイコプラズマ・ジェニタリウム (MG) は、MG 感染者とのコンドームを使わない膺性交やアナルセックスにより、人から人にうつる可能性があります。

マイコプラズマ・ジェニタリウムの症状 (What are the symptoms?)

膣 (Vagina)

膣がある人には、つぎのような症状が現れることがあります：

- 下腹部の痛み
- セックス中の痛み
- 異常なおりものの分泌
- 排尿時の痛み
- 膣からの不正出血

ペニス (Penis)

ペニスがある人には、つぎのような症状が現れることがあります：

- 排尿時の痛み
- ペニスからの分泌物

マイコプラズマ・ジェニタリウムの検査方法 (How do you test for it?)

膣がある人への検査は通常、検尿か、スワブによる膣または子宮頸部のサンプル採取で行われます。

ペニスがある人への検査は通常、検尿で行われます。

感染症が肛門部に発症している人への検査は、スワブによる肛門のサンプル採取で行われます。

マイコプラズマ・ジェニタリウムの治療法 (How is it treated?)

マイコプラズマ・ジェニタリウムは通常、2クルールの抗生物質投与で治療されます。感染症を完全に治癒するためには、2クルール分両方の抗生物質を服用しなければなりません。

抗生物質の服用から2～3週間後に、抗生物質がきちんと効いていることを確認するためにもう一度検査を受ける必要があります。

自身とパートナー（複数の場合は複数のパートナーたち）のマイコプラズマ・ジェニタリウムの検査結果が陰性となるまでは、セックスをしないか、性的な接触の際はいつも必ずコンドームもしくはダム（ビニール状の防護シート）を使うようにしましょう。

自分を守るために (How can I protect myself?)

マイコプラズマ・ジェニタリウムから自分を守るのに一番良い方法は、膣性交やアナルセックスの際にコンドームやダムを使うことです。

パートナーに知らせましょう (Let them know)

このように STI (性感染症) の診断を受けたときは、過去 2~3 ヶ月の期間のあなたの性的なパートナー全員が、医師による検査を受けるべきです。

STI を治療せずに放置すると、将来深刻な問題を引き起こしてしまう可能性があるため、あなたの性的なパートナー全員 (決まった相手もカジュアルな相手も含む) が検査を受けることが非常に重要です。

パートナーに感染の事実を伝えるのが難しい場合は、Let Them Know [パートナーに知らせましょう] (letthemknow.org.au) というサービスが提供している資料を参考にしてください。ここではパートナーにあなた自身の名前を出して個人的に、または匿名で送ったりやり取りすることができる会話や Eメール、SMS (ショートメール)、手紙のサンプル集が用意されています。

支援を得られる場所 (Where can I get help?)

- 最寄りの性健康・性感染症サービス機関に行く
- お住いの地域の医師に診てもらおう
- お住まいの地域のコミュニティ医療センターに行く

StaySTIFree [STI に感染しないために] のウェブサイト (staystifree.org.au) で、性健康・性感染症サービス機関を探してみましょう。

免責事項 (DISCLAIMER)

このファクトシートは一般的な性健康についての情報を提供するものであり、あなたの医師への相談やその医師による診療の必要性を代替する目的で作成されたものではありません。

自身の健康に不安や懸念がある場合は、あなたの医師に相談してください。

緊急の治療やケアを要する場合は、最寄りの救急科に行くか、000 番 (救急) に電話通報してください。